



# 虹をかけよう

日野小学校5学年通信

R4・6・17

## 親子でがんばった田植え！



先週の土曜日には、朝からお集まりいただき、無事に田植えをすることができました。5年生の子どもたちは、8人ですが、両親での参加や兄弟・おばあちゃんなども参加していただき、一列に並ぶと広い田んぼが端までつながるほどでした。家族の皆さんがたくさん応援に来てくださり、本当にありがたかったです。子どもたちは、初め泥臭いことやカエルがたくさんいたことが気になったようですが、段々に植えることに慣れてきて、自分の持ち場に責任をもち、がんばって植えている姿が印象的でした。お家の方にもしっかり田んぼに入ってもらい、植えていただいたので、本当に助かりました。今は、家に田んぼがあっても機械で植える時代なので、苗を3本ずつ手に取り植えていく田植えは、本当に貴重な体験になりました。お米の先生の牧野さんが、「1本は、虫たちの分、2本目は鳥たちの分、そして最後の1本が人間の食べる分。だから3本ずつ植えていくんだよ。」と話されていたことが印象に残りました。皆さん、段々に植えるコツがわかってきて手取りがスムーズになり、もち米は、1時間かかって植えましたが、コシヒカリは、苗が1枚半多かったにも関わらず、40分ほどで植えることができました。足場の悪い田んぼの中、腰を折る作業で大変だったと思いますが、たくさん植えていただき、本当にありがとうございました。見に来られていた校長先生が「お家の方の協力がすごいですね。」と言われていました。本当に、5年生の団結力はすごいです。

さて、今年は「米作り」の活動に全力で取り組んでいきたいと思います。今朝は、田んぼに行き、様子を見てきましたが、田植えの時よりも、藻が一面に繁殖していました。牧野さんに相談して、田植えの後は起こりやすいことなので、一旦水をたくさん入れることにより、藻を流してしまい、それから再び水を入れて来週、除草剤を投げ込むことになりました。一つひとつ手探り状態ですが、これからも田んぼにちょくちょく足を運び、稲の生長を見守っていきたいと思います。